

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	松月新館新築工事	階数	地上8F
建設地	鳥取県米子市皆生温泉三丁目2035	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火指定なし	平均居住人員	205 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年10月16日
敷地面積	2,133 m ²	作成者	東 良孝
建築面積	980 m ²	確認日	
延床面積	4,983 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%起: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>商業地域に建つ旅館として、建築物の環境品質を高めると同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>①遮音性に配慮し、音環境に配慮している。 ②外壁UA=1.0W/m²以下。開口部UA=4.0W/m²以下 ③庇とカーテンを組み合わせてグレアを抑制している。 ④一定の照度を満たしつつ、複数の機器の使い分けが可能</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>①すべての客室の面積は40m²以上を確保している。 ②無線LANを利用して100Mbitクラスのブロードバンド環境。 ③床: ビニル床材(18年)、壁: ビニルクロス(20年)、</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>①空地率=40%以上</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>①BPI=0.97、B E I m=0.72</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>①節水型便器を使用している。 ②再生デッキ材とビニル床材にリサイクル材を使用している。 ③LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>①ライフサイクルCO₂排出率=76% ②光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は過半を満たす。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される